

高地下水位地帯におけるソラマメの栽培技術 第3報 ソラマメの整枝方法 (着莢数と葉数)

木場達美・森田敏雅
(熊本県農業研究センター)

Tatsumi Koba and Toshimasa Morita:
Cultivation of Faba Bean on Lowland Paddy (3)

熊本県の水田地帯では転作作物として、1茎当たり8莢から10莢程度の着莢を目標としてソラマメの栽培が行われている。前報では、1条誘引における1茎当たりの着莢数(茎当たり6莢, 8莢, 10莢, 12莢)と着莢節位上の葉数(最も上の着莢節位+0葉, +2葉)が収量・品質に及ぼす影響について検討し、1茎当たり12莢着莢させ、その上位2葉を残して摘芯することが、収益性の高い整枝方法である事を報告した¹⁾。しかし、着莢数を多くするほど収量は増加したが、商品果(莢)率はやや低下した。着莢数を増やすことによる収量増と品質低下の関係について確認できなかったため、着莢数(茎当たり10莢, 12莢, 14莢, 16莢)および摘芯葉数(最も上の着莢節位+2葉, +4葉)が収量・品質に及ぼす影響について検討した。

1. 材料および方法

試験は熊本県農業研究センター農産園芸研究所野菜部八代研究室の露地圃場で行った。供試品種は‘陵西一寸’を用い、2001年10月11日に催芽、10月16日~11月9日まで3℃で25日間冷蔵処理を行った後、11月9日にセルトレイに鉢上げし育苗を行い、11月21日に定植した。栽植様式は畦幅110cm, 株間60cm(栽植本数151本/a), 整枝は3本仕立直立1条誘引とした。基肥施肥量はN:P₂O₅:K₂O=1.1:1.4:1.1(kg/a)とし、追肥は生育をみながら3回程度施用した。収穫は2002年4月19日~5月13日に行った。

2. 結果および考察

収量

着莢数の影響: 総収量は着莢数の増加に伴い多くなり16莢+2葉区が最も多かった。また、4月末までの収量

では、12莢+4葉区, 10莢+4葉区が優れた。

着莢上の葉数の影響: 着莢上の葉数が多い+4葉区では収量が増加する傾向にあった。これは莢が充実し、1莢重が増加したことによる。また、摘芯位置が同じである14莢+2葉区と12莢+4葉区を比較すると12莢+4葉区のほうが3粒莢以上の収量が増加した。

品質

着莢数の影響: 商品果(3粒莢以上)の発生割合は、着莢数が増加するとやや低下したが、収量の増加に伴い発生数量は増加の傾向にあった。また、商品果(3粒莢以上)1莢重は12莢着莢をピークとして着莢数が増加するにつれてやや減少した。後半の莢の不充実が原因となっている。

着莢上の葉数の影響: 商品果(3粒莢以上)の発生割合は着莢数+2葉区で約52~56%, +4葉区では約64%となった。また、1莢重も着莢数+2葉区で約47g, +4葉区で約51gとなり、着莢節位上の葉数が多いほど品質が向上した。摘芯までの葉数が多い方が、莢への同化養分の供給が十分行われたためと考えられる。

ソラマメは季節商材であるため、出荷時期が遅くなるほど販売単価が減少する。粗収入を増加させるには早い時期に充実した莢をなるべく多く収穫することが必要である。

以上の結果より、12莢着莢させ最上の着莢節位の上4葉を残して摘芯することが、収量が多く品質の高い莢を収穫できる整枝方法と考えられる。

参考文献

- 1) 木場達美・高森敬一・森田敏雅: 九農研 64, 2002.

第1表 収量 (1区7株当たり)

処理名	総収量			商品果 (3粒莢以上)			総収量中の割合	
	総莢数 (莢)	総莢重 (g)	1莢重 (g)	莢数 (莢)	莢重 (g)	1莢重 (g)	莢数 (%)	莢重 (%)
10莢+2葉	183	7,323	40.0	102	4,874	47.8	55.7	67.0
12莢+2葉	226	8,568	38.0	121	5,802	48.0	53.5	67.7
14莢+2葉	253	9,617	38.0	135	6,387	47.3	53.4	66.4
16莢+2葉	305	11,067	36.3	159	7,438	46.8	52.1	67.2
10莢+4葉	189	8,748	46.3	121	6,332	52.3	64.0	72.4
12莢+4葉	217	9,500	43.8	138	7,042	51.0	63.6	74.1

第2表 時期別商品果 (3粒莢以上) 収量 (1区7株当たり単位: g)

処理名	月 旬	4月				5月				合計
		4半月	5半月	6半月	4月計	1半月	2半月	3半月	5月計	
10莢+2葉		528	1,981	1,033	3,542	871	445	16	1,332	4,874
12莢+2葉		316	1,942	1,706	3,964	1,100	665	73	1,838	5,802
14莢+2葉		903	1,753	2,031	4,687	645	1,036	19	1,700	6,387
16莢+2葉		931	1,867	1,842	4,640	1,077	1,680	41	2,798	7,438
10莢+4葉		1,063	1,447	2,697	5,207	966	48	111	1,125	6,332
12莢+4葉		1,460	1,331	2,367	5,158	1,198	570	116	1,884	7,042